



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

みなさん こんにちは！ 小林市に来られた先生方 はじめまして！

小・中学校の地域学校協働活動と特色ある教育活動を紹介する広報紙「KSSVC だより」をお届けします。初めに KSSVC の紹介から…



Q1 KSSVC って？

「こばやしスクールサポートボランティアセンター」です。KSSVC 事業は小林方式の「地域学校協働活動推進事業」です。

Q2 事業のねらいは？

保護者や地域住民、関係諸機関が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校がパートナーとして「学校を核とした地域づくり」を目指します。

Q3 どんなことに取り組んでいますか？

小林中央公民館内に事務局があり、アドバイザー2名（甲斐・堀）が業務を担当しています。

- ◆ ボランティアの募集と学校への紹介。学校からのボランティアの依頼にも応じます。
- ◆ 活動を取材させていただきます。掲示用の写真(A4版)を学校に届け、中央公民館にも掲示します。昨年度は237件の活動と研修会を取材しました。
- ◆ 「KSSVC だより」を発行し、活動の様子を広く紹介します。学校向けを月2回、市内回覧用を月1回発行する予定です。
- ◆ 活動の実績(活動件数・ボランティアの人数)を、年度末に集約します。
- ◆ 各学校の取組をまとめた「実践記録集」と事務局の業務をまとめた「1年間のあゆみ」を年度末に作成し、学校と関係諸機関に届けます。

Q4 取材の方法・対象は？

2か月に1度提出していただく計画表を基に、事前に電話をして訪問します。対象は地域と学校が共に行う活動、学校支援ボランティアの活動、外部講師による授業や教室、社会科見学などです。

※ 4・5月の計画は提出済です。

Q5 期待される効果は？

【学校では…】

- ① 学校の教育活動の充実 (100%)
- ② 教職員が子どもと向き合う時間の増加 (66.7%)
- ③ 地域に支えられ、応援される学校づくり (100%)
- ④ 地域に愛着を持ち、地域に貢献したいと考える人材の育成 (90.5%)



数字は小・中学校21校の肯定的評価「そう思う+どちらかというと思う」の割合 (2018.11月調査)

【地域では…】

- ① 地域住民の生きがいと自己実現 (83.3%)
- ② 地域住民による社会参画の広がり (58.3%)
- ③ 地域社会の活性化 (91.7%)
- ④ 学校と子どもたちへの理解の深まり (91.7%)

コロナ前まで実施していたKSSVC研修会に参加した地域コーディネーターとボランティアの皆さんの肯定的評価 (2019.9.2)

1月～3月の活動を紹介します。(学年は旧学年)

須木小 避難訓練(火災)



理科室から出火の想定で体育館へ。避難の約束「おはしも」ができたかを振り返った後、須木分遣所の職員から講評と最近の火災についてのお話を聞きました。

最後は食堂での煙体験。周囲が全く見えない中、低い姿勢で壁を触りながら出口を目指します。出てきた時は、みんなホッとした表情をしていました。

【講評より】避難は大変よくできていました。「走らず、落ち着いて、低い姿勢」が大切です。

昨年は全国で3万5千件の火災が発生しています。子どもたちだけで火を扱うことはしないように。学校以外で火事があった時でも、今日の訓練を生かしてください。

南小 森林環境教育 ～校歌額の制作～



6年生



指導は高原町の製材業、森正明さん。森林の働きと役割のお話から木の良さや森の大切さを学んだ後、8cm 四方の板に1文字ずつ彫っていきました。子どもたちは校歌の歌詞に6年間の思いを込めながら、真剣に取り組んでいました。

1人が3～4枚を受け持ち、完成後は校内に掲示されるそうです。

裏に続きます。

野尻小 野尻町歴史民俗資料館

3年生

案内はガイドボランティア協会と社会教育課の皆さん



昭和初期の民家を再現したコーナーでは、何に使う道具かを考える場面もありました。のこぎり、斧、わらじなど、昔の道具にも触れ、当時の人々の生活と、知恵や工夫を学ぶことができました。

2階には市内の遺跡からの出土品が展示されており、子どもたちは大昔の生活を想像しながら見学していました。

今回の学習をとおして歴史に興味をも

つとともに、昔の生活を知ること、現代の生活について考えるきっかけになったことと思います。

※ 資料館は「のじりこびあ」にあります。

質問の時間

幸ヶ丘小 手話の学習

3～6年生



見えない人に伝える点字の本です

わたしの名前は～です。～が好きです。よろしくお願いします

3～6年生7名の活動です。最初に、見えない人や聞こえない人の生活と伝え合う方法を学習。伝える方法の一つとして、スポーツや動物のジェスチャーを考えてやってみました。指導は木の実会の皆さんです。

その後、手話でのあいさつや指文字を使っての自己紹介に挑戦。積極的に練習に取り組み、全員、自己紹介ができるようになりました。

須木中 世界をつなぐ英語の授業



This is "kuriku ri-yaki"

Thank you for your work!

This picture shows our daily life.

シアトル在住のマシューさんと全校生徒が英語で交流。1人ずつ自己紹介した後、学年ごとに須木や学校生活を写真で紹介。シアトルについても尋ねました。

マシューさんからも質問があり、生徒たちは英語でどう言うかを相談しながら答えていました。

【Q&A】 ◆ What time is it there? It's 9:51 pm.
◆ What do you do when you are free? I watch movies, read books, cook and climb mountains.
◆ Which Japanese food do you like?
I like everything, ramen, omurice, tamagokake-gohan, natto, and so on. マシューさんは日本をよく知っていました。

【Matthew's questions】

- ◆ What's Miyazaki like? ◆ What's famous food?
- ◆ I hear that there is a shrine next to your school. What is its God? (学校の隣にある神社の神様は?)

【Student's Message】 Speaking English was difficult. But we challenged. Thank you for everything!

当たり前のことですが、英語がいくら上手でも、知らないことは答えられません。生徒たちは故郷のことを知る大切さも、今回の授業で学んだことでしょう。

紙屋小 地域に花を植える活動

ノースポールとナデシコも植えました。



6年生12名が「紙屋一徳まちづくり協議会」の皆さんと一緒に、紙屋大橋付近の国道沿いに、金魚草などの苗を植えました。いつも見守ってくださっている地域の皆さんへ、「卒業を前に恩返し」の活動です。

【6年生の感想より】 ◆ 心がさわやかになりました。 ◆ 自分もすっきりしました。
◆ 地域の方が、花で元気になってほしいです。 ◆ 登校班の集合場所なので、毎朝、花を見て元気になると思います。
◆ 通りが花でにぎやかになりました。

【まちづくり協議会 木下会長】
皆さんが植えてくれた花を見て、ここを通る人の心も元気になると思います。



地域学校協働活動の課題と方向性

上記のテーマで学校の意見をまとめました。昨年9月に一度紹介し、3月に発行した「KSSVC 1年間のあゆみ」にも掲載しています。項目ごとに各学校の対策と方向性が記載されていますので、今後の活動の参考にしてください。

ここでは、4つの課題を簡単に紹介します。

- 1 ボランティアの高齢化と固定化
 - ◇ 協働活動が地域住民の負担にならない工夫
 - ◇ 新規ボランティアの募集と活動への参加の呼びかけ
- 2 既存の教育活動への外部人材・施設等の活用
 - ◇ 学校の活動への地域住民の協力
- 3 任意で繋がる「緩やかなネットワーク」の構築
 - ◇ まちづくり協議会など他の組織・団体との連携
 - ◇ 地域住民のために学校が行っている取組
 - ◇ 学校運営協議会の状況
- 4 学習支援ボランティアと教職員の働き方改革
 - ◇ 教職員の負担軽減を目的とした地域人材の活用
 - ◇ 教職員からの支援の要望

※ 訪問の際、これらのことについて、学校の現状をお尋ねすることがあるかもしれません。ご協力をお願いします。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

昨年度、市内の小中学校の「学校支援ボランティア活動実績」は、活動件数が5,826件、参加者は延べ25,912名。内訳は学習支援活動3,611名、部活動指導1,467名、環境整備1,706名、登下校安全指導18,494名、学校行事634名でした。

感染対策を兼ねたりモートの活動も多く、20件ほど取材しました。コロナ禍に伴い、新しい形の活動が今後も増えていくことでしょう。

今年度も、提出いただいた計画書に沿って取材し、特色ある様々な取組をお伝えします。

1年間、よろしくお祈りします。



2月と3月の活動を紹介します。(学年は旧学年)

須木中 性教育講演会



長鶴美佐子さん
宮崎県立看護大学教授。看護学博士

校長室と各教室を結んでのオンライン講演会。市内の小中学校の養護教諭9名も参加しました。

長鶴さんは看護師・助産師として県内外の病院に勤務され、分娩に立ち会った新生児は約500人だそうです。指導している大学生が書いた「思春期体験」や「私が生まれた時」の紹介もあり、思春期を身近に感じている生徒たちは真剣に耳を傾けていました。



親に反抗的な態度をとるのは自分だけではないことが分かりました。これまで支えてくれた人や、これから出会う人を大切に生きていこうと思います。



「春」の元になった文字。「発芽」を表わしているそうです。

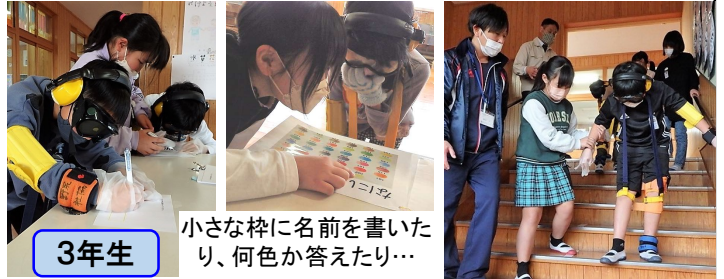
【お話の主な内容】 ◆ 思春期に感情的・攻撃的になるのはなぜ? ◆ 思春期は自分探しの時期 ◆ 思春期の友だちは大切 ◆ さまざまな「性」のあり方・感じ方 ◆ 思春期になると、なぜ「性への関心」が出てくるの? ◆ 性ホルモンのすばらしい働き ◆ 月経のしくみ、心と体の変化 ◆ 「性」は大切なもの～いのちをつくる・気持ちよさ・心の結びつき ◆ 人間の性は本能だけでなく、相手を大切に思う気持ちや相手との素敵な関係性の中での営み ◆ 「性」のトラブルを避けるために ◆ 子どもを産むことは「生まれてくる命を健やかに育む」責任を負うこと。

今のあなた方に責任を果たせるだろうか?



講演後は養護教諭が対象の研修会。長鶴先生から今回の授業の構成や内容について1時間ほどお話を伺いました。質疑応答も交えながら詳しく教えていただき、貴重なひと時になりました。

小林小 福祉体験活動(高齢者疑似体験)



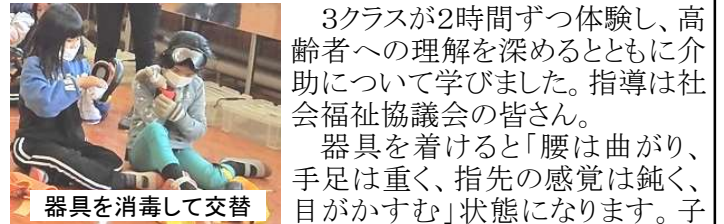
3年生

小さな枠に名前を書いたり、何色が答えたり...



お風呂

650円ください



器具を消毒して交替

3クラスが2時間ずつ体験し、高齢者への理解を深めるとともに介助について学びました。指導は社会福祉協議会の皆さん。

器具を着けると「腰は曲がり、手足は重く、指先の感覚は鈍く、目がかすむ」状態になります。子どもたちは、思い通りにならない体に戸惑いながらも、介助役の助けを借りて5つの課題に挑戦しました。

東方中 地域に花を贈る活動

長年続けている活動です。



種から育てたパンジーとビオラ100鉢に手書きのメッセージを添えて



僕たちが育てた花で、少しでも元気になっていただくと嬉しいです

以前は、地域の一人暮らしの高齢者宅を生徒と先生が訪問して渡していましたが、昨年からは区長さんと地域のボランティアの方々に届けてもらっています。

コロナ禍で直接お会いしてお話ができないのは残念ですが、学校と地域が「高齢者の皆さんを元気にしたい」という同じ思いをもって取り組みました。

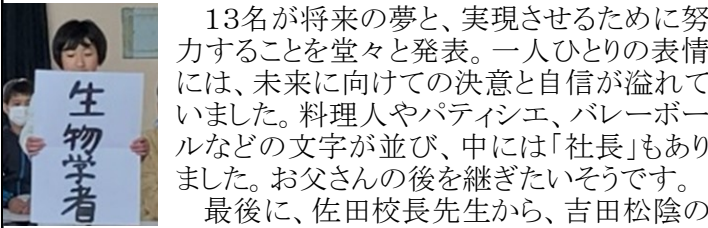
裏に続きます。

立志式・立志の集い

紙屋小 5年生



4・6年生と保護者



13名が将来の夢と、実現させるために努力することを堂々と発表。一人ひとりの表情には、未来に向けての決意と自信が溢れていました。料理人やパティシエ、バレエボールなどの文字が並び、中には「社長」もありました。お父さんの後を継ぎたいそうです。

最後に、佐田校長先生から、吉田松陰の言葉「目標への気持ちがはっきりすれば意欲が高まる」というお話もあり、子どもたちの気持ちは一層高まったようでした。



栗須小 5年生



4年生と保護者



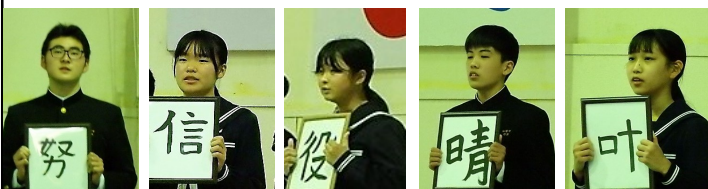
月のように、人の心を優しく照らしたいです

最初に、大牟田校長先生から「人間は転ぶことで歩くことを覚えます。失敗を恐れずいろいろなことにチャレンジしてください」とのメッセージ。その後、33名が名前や夢、目標にちなんだ言葉とともに、決意を述べ、スクリーンには、夢や目標、小さい頃の写真が映し出されました。

締めくくりは「感謝の歌」。「今日の誓いを忘れないよう心を込めて歌います」の言葉に続いて、美しいハーモニーが体育館に響きました。



細野中 2年生



出張中の校長先生に代わり、古澤教頭先生から「立志式は儀式を通して成長を確認できる人生の大切な節目です」とのお話がありました。



1年生



誓いの言葉

42名が漢字一文字とともに夢や目標を発表。これまでの自分の考えや行動を振り返り、目指す未来の姿を語りました。

- 一. 何事にも積極的に挑戦します。
- 一. 自分の言動に責任を持ちます。
- 一. 規則正しい生活を心がけます。
- 一. 支えてくださる方々への感謝の気持ちを大切にします。

最後に、4つの誓いを全員で元気よく唱和しました。



2年前、数校の立志式を取材して「小・中学生の将来の夢(職業)が多岐にわたり具体的になってきていると感じ、「キャリア教育の成果では」と考え、ちょっと調べてみました。対象は平成28年(2016年)から令和元年(2019年)までの三松小の5年生。立志式のしおりを見せていただき、将来就きたい職業を数えました。その結果は…

年度	H28	H29	H30	R元
職業の種類	43	41	39	26
児童数	79	69	61	35(未定1)

次に1人当たりの希望する職業の数を出してみました。たとえば、50人が50種類の異なる希望をもてば、値は「1」になります。つまり、「1」に近いほど重なり幅は小さく、夢が多岐にわたっていると言えるのではと考えました。

そこで、職業の種類を児童数で割ってみると…

年度	H28	H29	H30	R元
職業の種類/児童数	0.54	0.59	0.64	0.74

平成28年は三松小がキャリア教育の推進校になった年です。その後、徐々に値が「1」に近づいており、職業の希望の幅が広がっていると言えます。ただし、1校の4年間だけの結果ですので、もっと多くのデータが集まれば小林市の「職業選択とキャリア教育の関係」が分かるかもしれません。

「立志式・立志の集い」にちなんで紹介してみました。

事務局より

◆ 以下の文書を11日の市校長会で配布しました。小林市の地域学校協働活動をより理解する参考になれば幸いです。必要に応じて校内で回覧してください。

(データは学校間共有のKSSVCフォルダにあります)

- KSSVC 事業要覧
- 学校コーディネーターの仕事
- 活動実績の報告について

◆ 新たに決まった4・5月の活動がありましたら、電話かファクスで連絡をお願いします。直前の連絡にも対応しています。





School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

小林市の地域学校協働活動は「実施する段階」から、「目的に沿って内容を組み立てる段階」に、既に入っています。それ故、最大の効果を生み出すためには、**学校や地域の特色に応じた取組が必要だ**と思います。

事務局がKSSVCだよりで、同様の活動を何度も紹介するのも、「学校(学年)と地域が違えば、活動内容と効果も違う」という当たり前のことを伝えたいために他なりません。



※ 令和3年度「KSSVC1年間のあゆみ」編集後記より

「学校や地域の特色に応じた取組」とは？

この時期によく実施されている交通安全教室の昨年度と今年度の活動から紹介します。外部講師がない「自校方式」も含まれています。

- 学校前の通学路と横断歩道を使った。(幸ヶ丘小)
- 活動の終わりに教師による「振り返りの時間」を設定した。(三松小・野尻中)
- 校区内の交差点や踏切を想定した自転車のコースを設けた。(西小林中)
- サイクリング協会員の教師が、新入生に自転車の乗り方を指導した。(永久津中)
- 前輪だけブレーキをかけ、坂道で転倒した事例があり、ブレーキのかけ方を始め、危険運転の指導を講師に依頼した。(小林中)
- 自転車通生がほとんどいないので、自転車に関する指導内容を一部変更した。(須木中)
- スラロームや急停車など、自転車の運転技術を確認できるコースを設けた。(紙屋中・永久津中)

この他にも、指導する際の先生方の役割や児童・生徒が体験する内容など、学校によって様々な違いがあります。



地域学校協働活動や外部講師による授業では、子どもたちに学んでほしいことを、学校と外部の人材が共有しておくことが大切です。そのためにも、地域のボランティアや外部講師に、最初から最後まで「お願い」するのではなく、教師の願いを打合せ等で伝え「内容を組み立てる」ことが何よりも必要だと考えています。

「一般的な活動」から、「本校ならではの活動」に、どう進化させていくのが求められています。

3月の活動を紹介します。(学年は旧学年)

トヨタの出前授業

5年生



クイズも交えた「クルマと環境」についてのお話

会社が準備した「つなぎ」を着て…

【クイズより】地球をリンゴとすると、周りの空気は？
① 2ミリ ② 5ミリ ③ リンゴの皮より薄い 正解は③



4台の新型車が学校へ。その一つ「ランドクルーザー」。納車まで「4年待ち」だそうです。価格は500万円弱

【主な内容】二酸化炭素排出の原因・地球の温暖化・燃料電池自動車・クルマができるまで・試乗体験
【協力】トヨタカローラ宮崎 キャリア教育支援センター



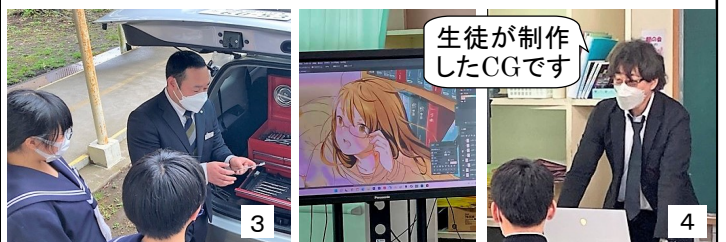
ハチロク

地球温暖化や未来の交通についての話を聞いた後は運動場で試乗体験。窓やエアコンを音声で操作したり、自動での車庫入れやスマホと連動した無人の車庫入れなど、最新技術の紹介もあり、子どもたちは目を輝かせて説明を聞いていました。先生方も興味津々でした。

【お礼の言葉】車が好きなので、知らないことをいろいろ教えてもらってよかったです。綱引きが楽しかったです。

細野中 夢を探そう

1年生



専門学校の先生方による「こすもす科」の授業。生徒は7つのブースから4つを選び、学校の概要や求められる人材についての話を聞きました。専門学校では仕事に直結する内容を主に学び、必要な資格が取得できます。卒業後の進路(就職先)も教えてもらい、今後のキャリアプランの選択肢が少し増えたようです。

裏に続きます。

【参加校と講師のひと言】

- ① 宮崎サザンビューティ専門学校 「美容師は様々な美容の知識とともに、コミュニケーション力が必要です」
 - ② 都城調理師高等専修学校 「これからの調理師は、おいしいだけでなく、安心で安全な食べ物を作れることが大切になります」
 - ③ 宮崎ユニバーサルカレッジ 「自動車の定期点検は整備士の仕事の基本です」
 - ④ 宮崎マルチメディア専門学校 「クリエイターの仕事は、作る技術だけでなく想像力が必要です」
 - ◇ 小林看護医療専門学校 「看護師には多くの人とコミュニケーションがとれる力が必要です」
 - ◇ フェニックス自然動物園(宮崎ペットワールド専門学校の依頼で参加) 「動物園は命の博物館です」
 - ◇ 大原簿記公務員専門学校 「地域の方々の安全で安心な暮らしを守るのが公務員です」
- ※ 各専門学校では出張講座も行っており、宮崎県専修学校各種学校連合会のホームページに案内があります。



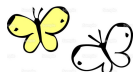
キャリア教育の講師がよく指摘するのが「コミュニケーション能力の重要性」です。一般的に、コミュニケーション能力とは「人の気持ちや感情をくみ取りながら、意思疎通ができる力のこと。私たちが生きていく上で大切な『人間関係』を築く力」だと言われています。

そういう能力を育てる機会の一つが地域学校協働活動です。過去の調査では「子供たちが地域住民と交流することにより、様々な体験や経験の場が増え、コミュニケーション能力の向上につながった」と答えた学校が88.7%に上ります。

(平成29年1月 文部科学省・国立教育政策研究所)



ここから今年度の活動です



永久津中 交通安全教室

1年生



押領司誠さん(県サイクリング協会理事長・永久津中前校長)

- ① 自転車が倒れない理由(ジャイロ効果)の学習
- ② 空気圧・サドルの高さ・ブレーキのかけ方について
- ③ 直進やスラロームのコツと練習
- ④ スピードが出て危険を感じた時の姿勢(ニュートラル・ポジション)。重心を低くしてペダルを地面と平行に

自転車のルールとマナー、安全対策に加えて、いざという時に役立つ技術も教えてもらいました。実践的な指導が新鮮だったようで、9人の1年生は、一つひとつの内容に熱心に取り組んでいました。押領司さんは非常勤の美術講師。西諸各地を案内するサイクリングガイドもしています。

西小林小 交通安全教室

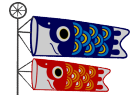
【講師】小林警察署・交通安全協会



3~6年生は自転車事故を扱ったDVDを視聴

低・中・高学年別に実施。1・2年生は横断歩道の安全な渡り方、3~6年生は自転車の正しい乗り方について学習しました。子どもたちは「事故には絶対に遭わない」「事故は絶対に起こさない」という思いを持ちながら、真剣に取り組んでいました。

幸ヶ丘小 1年生を迎える会



自己紹介じゃんけん

平均台じゃんけん



1年生1人を迎え、上級生の企画・進行で交流を深めました。先生方も含め、和やかな雰囲気の中、じゃんけんのゲームや三択クイズで盛り上がり、終始にぎやかな交流会でした。

【自己紹介じゃんけんで胸につけてもらった上級生の手紙】

- ◆ むずかしいことがあったらなんでもおしえます。これからよろしくおねがいします。 ◆ これからのしく、なかよくしていこうね。わからないことがあればどんどんゆってね。
- ◆ ひるやすみにサッカーやおにごっこをやろうね。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

4月から5月にかけて、交通安全教室や避難訓練を多くの学校で見せていただきました。年度当初に実施される「命を守る教育」です。同じ時期、青葉若葉の頃は、さつまいもの苗植えや梅ちぎり、しばらくすると田植えやプール掃除…。訪問の度に季節の移り変わりを感じています。

同時に、外部指導者や地域の方々との連携の在り方を通して「協働」することの意味についても考えています。その一つが、参加者同士の横のつながりです。「参加したことでいろいろな方と知り合えました」という話をよく聞きます。こういう体験から「緩やかなネットワーク」が生まれ、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」につながるのでしょう。

学校の取組は、関わってくださる個人や団体の「横の関係」にも良い影響を与えています。



ボランティアの皆さんとの対面式。でも、何か今と違います。子どもたちも含め、全員がマスクをしていません。実は2019年5月、野尻小の読み聞かせ集会のひとこまでです。コロナ以前は、このような形の集会在市内の学校でたくさん開かれていました。

野尻小 ボランティア集会



支えてくださっている方々に、感謝の気持ちで接してください



校長先生

多くのボランティア団体の中から3人の方にお越しいただき、放送室と教室をつないで実施。教頭先生がお一人ずつ紹介した後、学校や子どもたちへの思いをそれぞれお話していただきました。

直接顔を合わせてのあいさつはできませんでしたが、これからの楽しい活動に向けてのよいスタートが切れました。



【出席者】西原さん(読み聞かせグループたんぼぼ) 益田さん(学習支援ボランティア) 古川さん(東麓新地馬場棒踊り保存会)

東方小 支援学校との対面式

いのちはひとつ、こころはひとつだよ



支援学校は数名ずつの13学級。5・6年生の教室は高等部(小林高校敷地内)にあります。



1年生



3年生

僕の名前は～

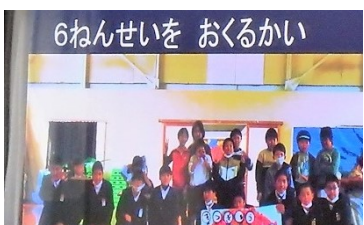
ちからをあわせて さくらんぼになります

学級目標はチャレンジ6年生です

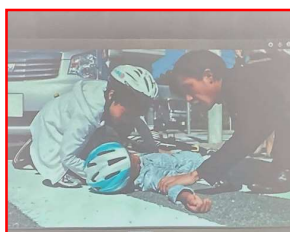


隣接する、こすもす支援学校小学部とのオンライン交流会です。マスコットキャラクターのヒガヤッピーが新入生のもん吉くんに、学校が楽しくなる秘訣を教えるという校長先生のお話で始まりました。

学級の目標や自分の名前などを交互に紹介し、昨年度の交流活動の様子も写真で振り返りました。コロナ禍で直接交流する機会は少なくなっていますが、合同運動会や学年での交流会を毎年行っています。



交通安全教室



幸ヶ丘小

運転手さんの目を見て、「渡りますよ」という気持ちを表しましょう

今年は自校方式で実施。動画を見て、危険予測の大切さや自転車のルール・マナー・点検について学んだ後、横断歩道の安全な渡り方の実技を行いました。

裏に続きます。



車です

信号です



横断歩道を渡る時に先生方が確認していたのは、止まった車(運転手)をしっかり見ているかということ。そのため、車や信号機になって子どもたちの視線の先を追っていました。

「観光シーズンに校区内で増える車についても、普段から意識させています」というお話を、以前お聞きしました。



東方中



自転車通なので、これからもルールを守って通学します

最初に、スタントマンによる事故を再現したDVDを視聴。一時停止等の規則を無視して起きた事故の恐ろしさを実感しました。自転車点検の項目についての説明後は、1年生を中心に、代表の生徒が見通しの悪い交差点を通行する実技を行い、ルールを守る、止まって確認するという基本的なことが事故防止につながることを再確認しました。



「意識」だと思います

三松中

事故防止のために大切なことは何でしょう？



後ろよ～し！

規則やルールなど、学んだことをこれからの生活に生かし、安全に過ごします

自転車の交通ルールや加害事故のお話と実技を通して、安全な乗り方について確認。自転車通学の生徒による実技では、指導する皆さんの「左側に立ち、一時停止時は右足がペダル、左足は地面。ブレーキは両手・四本指で」という声が繰り返し聞こえていました。

東方中と三松中での指導は小林警察署と交通安全協会の皆さん



紙屋中 避難訓練(地震)

机の下から運動場へ、一連の避難行動の後、「ケーススタディ」を実施。登校途中に大きな地震が発生したとの想定で、その後にとるべき行動を話し合いました。ポイントは…

- ◆ 自分が無事であることを知らせる
- ◆ 学校に行くのか？家に帰るのか？
- ◆ 想定外のことが起きているかも…



※ 避難行動に「最良解」はあっても「正解」はない。

- 想定にとられるな！
- 最善を尽くせ！
- 率先避難者たれ！

生徒たちは3学年混合のグループで話し合い、タブレットへの入力や発表を通して考えを深めました。

最後に、担当の先生から、安否を伝える災害伝言ダイヤルや避難所としての紙屋中の機能についての説明を聞き、避難行動の三原則を確認しました。

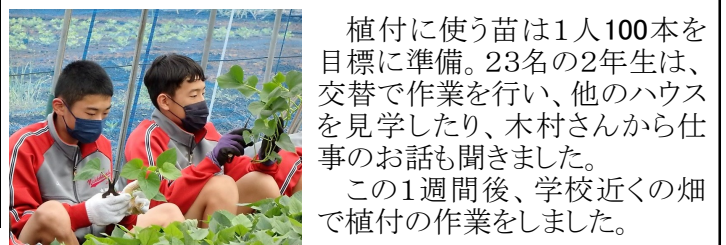
西小林中 さつまいもの苗切り



根元から2節残し、30cmくらいで切ります(木村さん:木村農園)

ベトナムからの技能実習生の皆さん(5名)と一緒に作業をしました。日本語が話せる方もいて、いろいろな話ことができました。

木村農園では食用や焼酎の原料になるさつまいもの苗を数万本出荷しています。



植付に使う苗は1人100本を目標に準備。23名の2年生は、交替で作業を行い、他のハウスを見学したり、木村さんから仕事のお話も聞きました。

この1週間後、学校近くの畑で植付の作業をしました。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



出の山公園の水源地です。霧島連山からの湧水がパイプを通してタンクに溜まり、一杯になると弁が開いて放水されます。この水が公園の池を通してホテルの住む川へ…

南小3年生のホテルの授業に同行した際、迫力ある光景に出会い、小林の水の豊かさを改めて感じました。同時に夏の訪れも…

いずれの教室も、講師は小林警察署と交通安全協会の皆さんです。特に力を込めてお話しされたのは…

【横断歩道】 ◆ 形だけの「右よし左よし」ではなく、運転手さんが見てくれているかを確認します。最初は右、半分からは左の車を最後まで見て渡りましょう。

◆ 青の点滅では渡りません。集団登校では上級生が気をつけてあげてください。「急いで渡れ！」はダメですよ！

◆ 手を挙げるのは「渡ります」という合図です。大人もしてほしいですね。

【自転車】 ◆ 見通しの悪い交差点での事故が多く、自転車の加害事故も増えています。

◆ 止まって周りを見ることが事故防止の基本です。特に、急いでいる時は要注意です。



交通安全教室



野尻小



小林中 避難訓練【地震】

2016年 4月16日
熊本地震
マグニチュード:7.3
最大震度:7

様々な場所で地震に遭遇したと想定し、とるべき行動を考えよう。

一時避難



事前指導(学級ごと)



安否確認

◆ 1~3年生「横断歩道の正しい渡り方」 ◆ 4~6年生「自転車の正しい乗り方(DVD 視聴・代表による実技)」
【お礼の言葉(6年生)】今までの復習をするいい機会になりました。今日のことを忘れずに自転車に乗ります。

細野小



自転車の乗り方がよくわかりました(4年生)

◆ 1・2年生「横断歩道の正しい渡り方」 ◆ 3・4年生と5・6年生「自転車の正しい乗り方(DVD 視聴)」
【お礼の言葉(6年生)】今日学習したことを守って、絶対に事故にあわないようにしたいです。

野尻中全体で意識を高くもち、無事故無違反で過ごしたいと思います

野尻中



スタントマンによる衝突実験



◆ 自転車の交通ルール・マナー・正しい乗り方 衝突実験の DVD 視聴・代表による実技



報告

最終確認

生徒と先生500名が避難を完了し、最終の確認を終えるまで3分10秒。事前指導から避難まで、大人数が整然と行動する様子を感じながら見ていました。

【校長先生の講評より】本当の災害では、いろいろなことを想像して行動し、自分の命を自分で守ってほしいと思います。



さつまいもの苗植え

野尻小 1・2年生



ねらいは、地域と学校の連携による地域活性化です

【協力】東麓地区営農組合・JA こばやし



営農組合長さん



学校近くの「なかよし畑」に紅はるかの苗を植えました。子どもたちは、教えてもらいながらてきぱきと作業。昨年も経験した2年生はさすがに上手でした。この取組は食育活動の一環でもあり、10月に収穫を迎えます。

裏に続きます。

永久津中 2年生

【協力】神之菌さん・今別府さん
(地域コーディネーター)



◆ うまく植えられました。収穫の時には、またよろしく
お願いします ◆ 植え方を覚えてよかったです

お二人から植え方を教わった後、甘さが特徴の「紅はるか」と「宮崎紅」を植えました。手際良く作業し、30分ほどで終了。10月には収穫し、文化発表会で参観者に配ったり、家庭科の調理実習で使ったりします。

西小林中 2年生

【協力】木村さん(木村農園)



黄金千貫 2440 本と紅はるか 100 本を植えました。



農園の方に教えてもらいました。

技術・家庭科(栽培)の授業。2人1組になり、1週間前に自分たちが切って準備した苗も含め、2種類の苗を植えました。秋には、収穫したさつまいもを使い、郷土料理教室を学年ごとに行います。

栗須小の活動

1年生 梅ちぎり

【協力】野尻農産加工センター



おいしい梅干しにして皆さんに届けます



梅林の碑
昭和15年建立

ありがとうございました

プールの横に歴史のある10数本の梅林があります。子どもたちは、低い枝の梅だけでなく、大人に助けをもらいながら、木に登ったり脚立を使ったりして、高い所の梅もちぎっていました。コンテナ2つ以上の収穫があり、大活躍の1年生でした。

収穫した梅は、この後、加工センターで梅干しになり、1年生の家庭に届けられます。



稲の種まき

【協力】野尻原環境保全会・営農組合
農業改良改善センター・JA こばやし



今年から始まった5年生の活動です。通常は機械での作業ですが、均一にまいて土をかぶせるまでを手作業で行い、お米ができるまでのお話も聞きました。

この後、全校児童による田植え、稲刈り、餅つきと、農作業やお米について学ぶ学習が続きます。

南小 ホタルの授業

【講師】西さん・川野さん
(商工観光課)



2頭いました

3年生

【内容】◆ ホタルの一生、光る秘密、オスとメスの違い ◆ 「出の山ホタル恋まつり」について ◆ ホタルの調査と環境を守る取組

教室でのお話の後、バスで出の山公園へ。遊歩道を歩きながら説明を聞き、葉っぱにとまったホタルも見つけることができました。

その後、水源地へ移動。子どもたちは、ホタルと水を通して、小林の自然の豊かさも学びました。

読み聞かせ

東方小

「はらけた」がわかるかな？



2年生 西諸弁のお話

校長先生を含む「よんみろ会」のメンバー6名が、いろいろな本を読んでくださいました。手作りの絵本やクイズ、子どもの日にちなんだ話題もあり、子どもたちは、本の世界に夢中になっていました。

校長先生は「天の岩戸隠れ」を6年生に…。

須木中



全学年合同で実施

読み手は市立図書館須木分館の山下さん。生徒たちは、2冊の絵本、「アレクサンダとぜんまいねずみ」と「くらげほねなし」に、じっくりと耳を傾けていました。

朝の短い時間、読み聞かせで清々しい気持ちになり、1日のスタートを気持ちよく切ることができました。